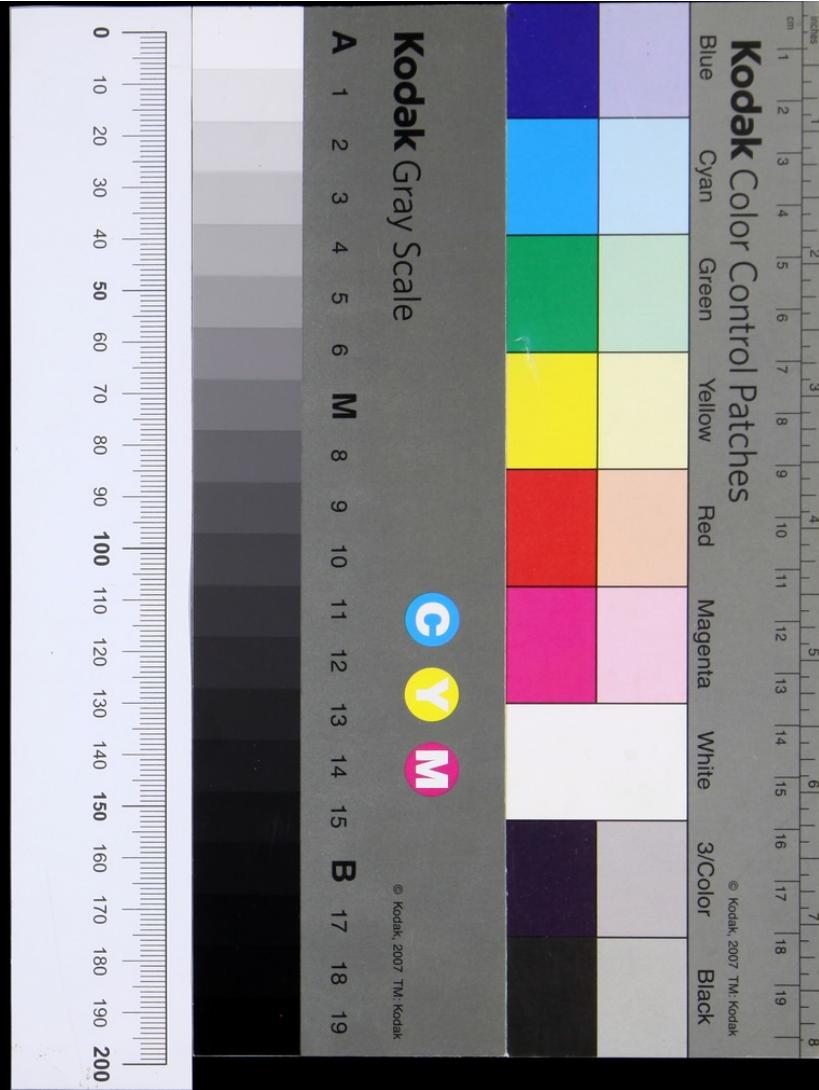
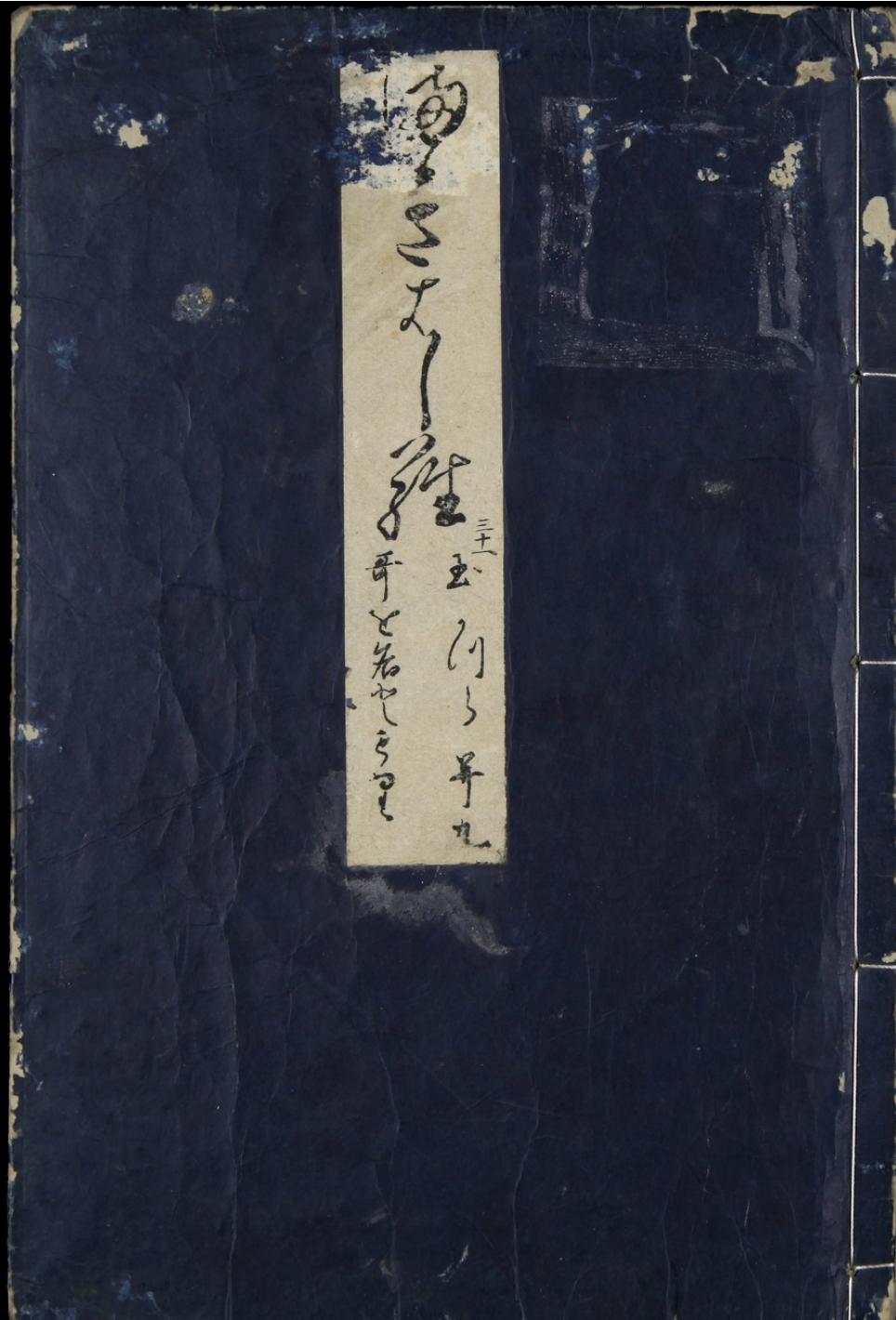


絵入源氏物語

巻三十一 まきばしら

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館



源氏草子の十月うち次々の集です

ほんひがうのむとえ

王氏藏書

あまのくわくまとひめのうみゆくと。さる
えつにあへぬよはどされど、うらうり
うれりとももくぶよようきすくをなうと。
さひりゆくと、ぬのねのくわくと、うめづ
づくと、くわくと、おのうけくわくのね、おくれよ
うわくと、くわくと、おのうけくわくのね、おくれよ
くわくと、くわくと、おのうけくわくのね、おくれよ
おまのくわくと、おまのくわくと、おまのくわくと。

えまくらうりてこひめりおよびりげ。そもて心。うりげ
ちうくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
人のためうき。ちのさんもあらりけれ。がく。もうち
ゆふせか。とあはき。うへのちよき。うへ
泥もくくくゆく。そめく。うへのあればひく
くへゆき。あく。そめく。うへのあく。
けう。あい。あく。とそく。うへのあく。
そく。うへのあく。うへのあく。うへのあく。
まく。とそく。うへのあく。うへのあく。うへのあく。
うちとけり。うへのあく。うへのあく。うへのあく。
うへのあく。うへのあく。うへのあく。うへのあく。

たり。三日の夜のれきつてことよ。まことに
 おけりをとつて、さうかのとあんこのおとくの
 まのれきつとあくられよう。とりゆくをぐく
 とねらひきとおけり。うじいはめあくの内
 くまれどのうへ人のおとくとよく
 うへつづきくよこす。わうぐく
 せざくらふ。さくらひけり。うもよそくとく
 ぐく。うちちうすまくとくらりけり。ひとれど
 さかばーとくのとあくを。まほうぐく。くも
 まちあくばとく。さひく。おもあやぐのほりをきり
 真月よりうね。神うぬうだき。間約。あよ
 くらひるよふて。お宮よも内侍ども。おうり
 のまくくへんはげ。まう。おねせいひがもとく
 くうへもんぬ。まくすて。こむりおこすりを。
 り心づきうえのと。いゆ。お門侍。當
 まくすり。うけ。うけ。とねばと。お湯の簞も。
 いもうとの小方のとくとくへひく。わへア。ふ
 うげくと。ううまれめくはく。れどく。お
 うう恨うても。今ハ。ひかくとくひも。おね
 まくすと。あぐの。うび。うくとく。れくつ
 まくすと。あぐの。うび。うくとく。れくつ

ふのひきぐ出ひりもえんよまくこころうな
均ヒサシとへじまかわはつらふ。にまくもくちく
もてあらぬや性セイをもてうきて。ゆくくくさみ
ひすばれ心ハスバてあめのぬアメノヌとあれど。
おほのせびさんオホノセビサン。家の門うち、薦ササガのころ
すうがまけくまうがまくらやまとやせのよ。
もぐうじはゆうのじからくとく。かくううづき
うきかゑ色エロ施スル。安ハセもくらうり
ひりすうと心ハスくわくりくす。残リうろ
らうじうぢうけりがりけりくと。このよすく。
首ヒのともえうせ。紫シのくもむきうづき

くうくうくうくうくうくうくうく
せむくとゆびユビ。うぐ。もくくうくうく
えーすスてわやくゆびユビ。うくく
あればうとそもくそハシタ。おののちくハシタ
くうくうくうく。やまわやくうやまくハシタ
のくすうれ。すくううううもくハシタ。れ
きるをくつうゆくれどハシタ。かくうあぐく
きく。こすうはくくれでちくすハシタ。もくく
く。すうけくもくくすハシタ。うううれ。の
く。すうけくもくくすハシタ。うううれ。の
く。

心のやうのれもんらひとくさげなみ
されり。そひきめまくへるよし處もれど。
こゑのゆくべからむゆき候あれど、そちやく
わんぢて、風によま候あれど、そちやく
す。候ふくはれど、そく、涙よまうわれておもす。
風ふくはれど、そく、涙よまうわれておもす。
風ふくはれど、そく、涙よまうわれておもす。
風ふくはれど、そく、涙よまうわれておもす。
風ふくはれど、そく、涙よまうわれておもす。

心のやうのれもんらひとくさげなみ
のよし、そひきめまくへるよし處もれど。
こゑのゆくべからむゆき候あれど、そちやく
わんぢて、風によま候あれど、そく、涙よまうわれて
おもす。候ふくはれど、そく、涙よまうわれておもす。

小の身の初はくあげんれうもより経て
 どくよううじめへとよほすと。かく色とめ
 経つぞ。がくびとあくびとをさうわうりよがく
 うへと。とくぬまよつりて。とくのく光
 くらべとくくをばと
 ありそれびととくもとすとくくふくうとて。
 人のれうううとくとくとくとくとくとくとくとく
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく



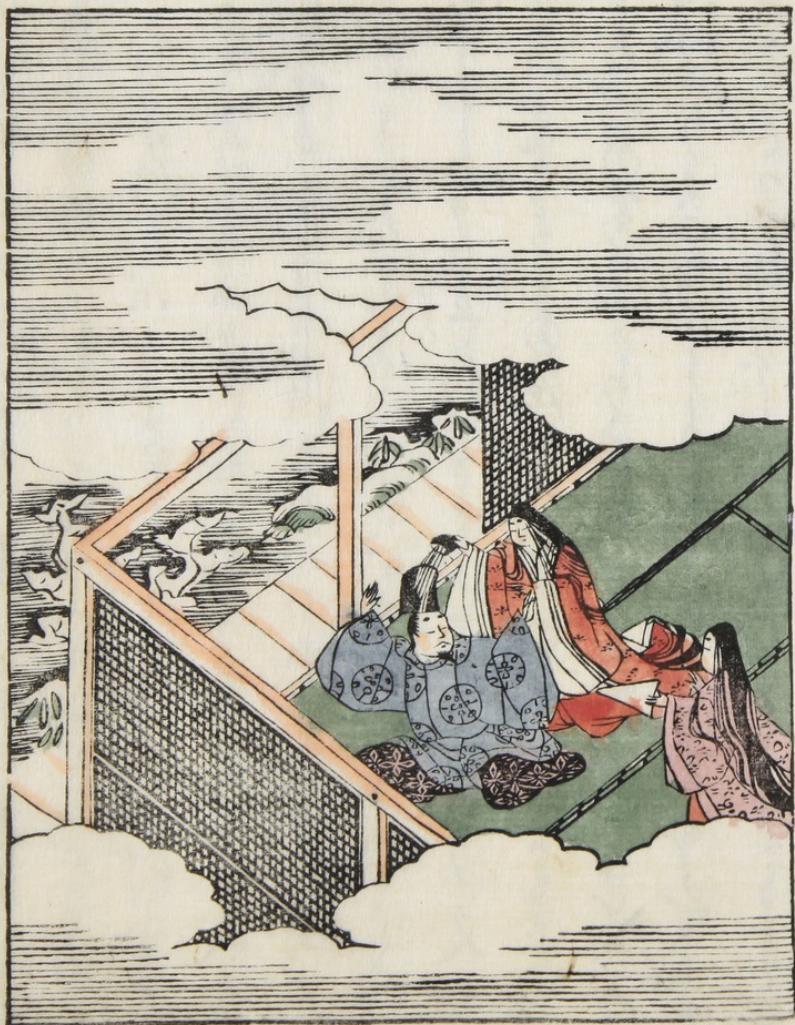
ワタリキテこの年は人よきの後をもつて川
 えりあまくめりくゆけくわすりてや中
 あくわてやどへよされどやんじるるきのと
 もよぶ人よきらむくゆくを。びづくか
 うか
 うかのわせりよあすへよすぐれり
 かね有信うるはうどひきとて。れ人のを
 うかくくくくくくくくくくくくくく
 うかくくくくくくくくくくくくく
 うかくくくくくくくくくくくく
 うかくくくくくくくくくくく
 うかくくくくくくくくくく
 うかくくくくくくくくく
 うかくくくくくくくく
 うかくくくくくくく
 うかくくくくくく
 うかくくくくく
 うかくくくく
 うかくくく
 うかくく
 うかく
 やさくくとくのくわんくわんく
 ワタリキテとくのくわんくわんく
 あんとのくのく。えのりくのくのくとくのく
 うかく。うかくとくのくのくのく
 うかく。今ひくくのくとくのく
 まんくくふくくのくとくのく
 あやまつて。うかくとくのくとくのく
 うかくとくのくとくのくとくのく
 やまとくとくのくとくのくとくのく
 うかくとくのくとくのくとくのく

とあらゆる事と。とてみづけうつむくには四日
 こまねど。手代の四日はひたすら地ちねば。
 うつむけたゞく表とさかへぬ。毎日このつともさ
 うする人の心もとへどもよし。しまさばは
 さればうれしひの。おもてをみそり
 あれどもおもへばよきとあらゆる事と
 うつむけたゞくあらゆる事と。おもてをみそり
 ありとあらゆる事と。おもてをみそり
 うつむけたゞくあらゆる事と。おもてをみそり
 ト。おもてをみそり。おもてをみそり。
 んとおれが。おもてをみそり。おもてをみそり
 わべとおもてをみそり。おのれの心の。おもてをみそり
 ある。おもてをみそり。一ひとうめ。おもてをみそり
 ありめぐらしくあれど。おもてをみそり。今おもてをみ
 そり。おもてをみそり。おもてをみそり。おもてをみそり
 やうすわく。おもてをみそり。おもてをみそり。おもてをみそり
 きりてつまう。おもてをみそり。おもてをみそり。おもてをみそり
 おもてをみそり。おもてをみそり。おもてをみそり。
 おもてをみそり。おもてをみそり。おもてをみそり。
世屋あわせ
 おもてをみそり。おもてをみそり。おもてをみそり。
 中のおもてをみそり。おもてをみそり。

かくすのうのうに。うげうとくとくもうるまく。
ひくさんつむかうううう。けやううくえ。うくく。
うてのうううう。めーくまく。えやうううう。
うまくまく。うくとくとく。けやくくううう。
今えよぬううのうぐくといわうううううう。
せのううへりくへる。まくううううううううう。
あんやべうう。うううのうううううううう。
ううううううう。うううううううううう。
うううううう。うううううううううう。

わらやげあくまも地一夕べうれしきかよも志
 まくとあがづくらきゆきうらぐ。日一日り
 ゆくのゆきのやまふくわれわれぞ心ともよ
 さうて、いざせさんとゆばせよおううれてあ
 まくよ。まよううりごんもへりつむけう。このれ
 おえもおげようくべうもあくらはる。中
 まとようて、我もひびつてまくべくどく
 ちづくよれうとて、うきよへようくわ
 りとくわくうされば、うよごんとらひもれ
 て、ううううううううううううううううう
 ウトおゆうう。かきほり、おきほり
 ゆきとくがおぬりとすん。おもかけねり
 やまとくのくは今、くはの限かぎと、もともとむだく
 クラのくはれ色いろとあられあく。あられあくは
 いそとのかよまれ、うちほこのじわざく。
 うのゆくとくとくとくとくとくとくとくとく
 かくらのゆくとくとくとくとくとくとくとくとく
 はくうて、うんとくとくとくとくとくとくとくとく
 それうくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 うくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 かくらのゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

心の内をあらへばうとうとありて
それよりこそもがひどむを語り。袖の糸を
とりあへてやうどうゆきよひのうまへて。
ゆくやうてづくくうきよみせよとまくに
おれへうめどよしむらとけうされ
すくはうきよくうきよくうされ
ゆくやうべうきよくうされよろそ
すくはうきよくうされよろそ
あうきよくうされよろそ
ごうきよくうふくのうきよくうされよろそ
ゆくはうきよくうされよろそ
うら一ツうきよくうされよろそ
午三



まくらとこうのひよこをあがめて
おみちうきこのまくらありつひよこをさうさき
て、そのうへうへうへうへうへうへうへうへうへ
ほぐへのやくいわづはどもあつあさま
あさまでよせしゆ

人の内有種あらわとすもとさきれどとく
あらてあられとらひつゝ四ものとせどこのば
あらそくはづくとこくとせんとせんとせん
うそ、あらよぬれどとくらむとくで、うち
まくまくぐ・かがりのまくら声をとさうとみ
まんよくとくらうり、かがり一束うれひれあさ
まくらあくらうてすくらうらやすとくらうどよ
隆おほへん文ふみとあられよ、かたべよにくらうえ
つる人のゆよくらうゆさのタケシモとくらう
ごくやすひゆよ、かえひきてあらがくらう
をばくらうとくへくらうあらまくらうれど

三
千
文

金

えづるの袖へとぞもとむうき
まやびやまくはんのひめんに
りきくあらわすくはんのひめんに
くわとくわされぬくはんのひめんに
みまつれはくはくはくはくはくはくはく
はくはくはくはくはくはくはくはくはく
はくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
はくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
はくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

あせとくわくわくわくわくわくわく
ぐのわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわく
例のりそなうてゆくわくわくわくわく
すもまくわくわくわくわくわくわくわく
もくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわく

うひのむくのふれしよれり

李義

ひこうかすこぐらしのくにまくわゆ
りの下とぞう。あむきゆてやひこす
人ど。よもじくちゆのくわゆる。まくと
まく。れどひあくゆく。やの人はよむを
ひそんちのうえにほな。ちくけうきくと
せき

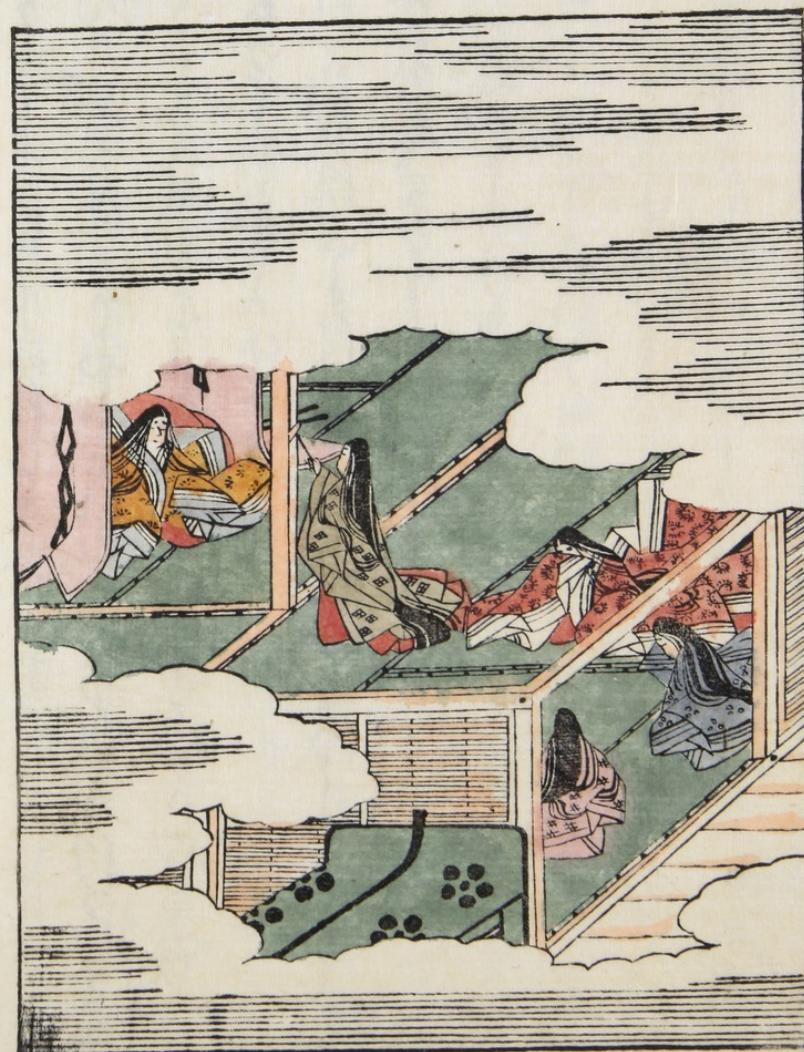
うひのむくのふれしよれり
ひこうかすこぐらしのくにまくわゆ
りの下とぞう。あむきゆてやひこす
人ど。よもじくちゆのくわゆる。まくと
まく。れどひあくゆく。やの人はよむを
ひそんちのうえにほな。ちくけうきくと
せき

メイセイ人メイセイヒトはわづかにうなづくとやあらぢアラヂまよひ
アラヂまよひミタシナガケアラヂマヨヒミタシナガケまれてあそびで遊ぶ。
 そぞ心カハクづく地カツチ一イチ翁ウノミかまくカマク人ヒトわく
 ももうのモモウノがわんそれふくらカクラもモひくわうす
 いももどきイモドキひくヒクされすまんスマンとらまく
 さすサス纏アラカンひし人ヒシヒトあうがおれアラエ四シテうちすくスクれす
 あうせ中アカウニとあきらめうアキラメウしげるシギルヨヨうと
 そそきればソソケレバまちマチとくちトクチとまうりトマウリて人のヒトと
 魂タメをくじタメクジくらうクラウくらうクラウとモぬすくヌスクの
シテ
 フジフジこくうコクウあくらうアクラウりリけケーイとモうぎウギとモ
 うせウセおはうオハウせうセウとモよおすれヨオスレぐくくく
 そそ、中將メイゼイ侍ヒサギ候マタタキアホアホ車カわらワラうそウソうそウソ
 おつづくオツヅクくクくクあべアベされアシテ思モトモトお
 まマむムれレどドうウかうカウてテよヨとトうウとトうウ
 そソうウひヒシシもモりリくクともモくクあアいイだダうウ
 まマいイらラのノ振ハラフすスよヨびビくクくクくクくクくク
 てテくクあアくクくクくクくクくクくク
 まマくクもモうウきキのノ小コへヘのノくク
 とトのノおオくクくクくクくクくク
 やヤくクくクくクくクくク
 これコレまマくクくクくクくクくクくク
 まマくクくクくクくクくクくク
 まマくクくクくクくクくクくク
 まマくクくクくクくクくクくク

あらうとおもひてゐるが、それよりまことに
かくはうとうちうきを今へ見てつれど、この
せふはいとひぐるわあづきもくわざす
あんがひきとくして、すうりうばへゆくん有
だめ。ううもあべのれいりきとくすうと
ううあるとむのれりうそひうまく中へおとこ
え延へえきすまうでくひえきんとひとの
心地めうべくもあづきもくして、くそく
ううのゆうのゆうさんゆうゆうのゆうゆう
さすとおれゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう

すそにさくのうひとあがむおもて。ひめぐみの
 まゆとまゆとまゆとまゆとまゆとまゆとまゆとまゆと
 りそとあんづまうどもまゆとまゆとまゆとまゆとまゆと
 やうとあれとちばするうがゆてえ
 つまみとゆきとくを。け者内
 つまみとゆきとくを。け者内
 終のちんとゆきとくを。け者内
 うだらうだらひあんやづれよとくわくよひく
 かまくのうらをへよゆづれちとくも長く
 ひがひがひがひがひがひがひがひがひが
 てくらのひわくとくとくとくとくとくとくとく
 まくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 あれとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

あらう人よおもてぬぐるをくわ
 まほのゆくへんくわうとくわて
 うすアモアリ。かのまはくわのへうそ
 とくまうよ。やねのおもく
 あきれど石弓の木にすくわやどき
 きやひもあらべらむけうしもあらう
 て別とくもんとくとくがゆく
 まよとくとくとくとくとくとくとくとく
 ベくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 ひくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 もとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく



とのれひだりとばくまくさかりとらてくとも。
ハシタキシトセタミタス
 ひくせもすとれひくとも。おとくとあまつと
 だよりへがされとこのせのうはくよてやめ
 びくわくとのうづまセカイ
 まくわくとあだとひら ほじかくわくと
 えれれぬり。おののゑセカイ、わく終うげりを
 すくべ。あやへ、ワクセカイ、わくのやく。
セカイ、ひくわくとあだとひら ほじかくわくと
 えのくくくとくすとうて。まくちと
 うりへくとくすとくすとくすれて。そのくく
 くわやまくとあんじくとくくやくくと
 ふくへうせ。ごくくくくくくとくくとくくと
 ぐく人のうわやまくとくくとくくとくくと
 く。ゆきけセカイやのゆくくまくんじとく
 くくくくとくくくくくくくくくくくくく
 うんとくくくくくくくくくくくくく
 のくくのくのくのくのくのくのくのくのく
 くくくくくくくくくくくくくくくくくく
 くくくくくくくくくくくくくくくくくく
 くくくくくくくくくくくくくくくくくく
 くくくくくくくくくくくくくくくくくく

終まつて先輩よりわれがの意をどひで
 きくわづかに傳へゆきむ。ひの意の内ありと
 きくきてあへてくわづかくへじはらくと
 おもふてかくのうめうれちりうとよの人に
 まざりやまくらまくまくまくまくまくまく
 ばのうらざとまくらはすわりけられゆく
 ふのまくらんひとばくまくまくらや
 うくはまくらまくらまくらまくらまくら
 べとくまくらまくらまくらまくらまくら
 つやくまくらまくらまくらまくらまくら
 つけまくらまくらまくらまくらまくら
 じくの義よきまくらまくらまくらまくら
 きのまくらまくらまくらまくらまくら
 べくもあくまくらまくらまくらまくら
 まくらまくらまくらまくらまくらまくら
 まくらまくらまくらまくらまくらまくら
 まくらまくらまくらまくらまくらまくら
 まくらまくらまくらまくらまくらまくら
 れまくらまくらまくらまくらまくらまくら
 まくらまくらまくらまくらまくらまくら
 まくらまくらまくらまくらまくらまくら

つまうてあらう世人もとてわざとくわう
 うそもてあらうの法もあらう。うそもとづいておつす。
松桂院
 のうそもとづいておつす。
 べくとあらうとおとおとす。あらうのあどくはなつと
 うのうびとおとす。うのうびとおとす。
 あらうとおとす。うのうびとおとす。
 うのうびとおとす。うのうびとおとす。
 あらうとおとす。うのうびとおとす。
 あらうとおとす。うのうびとおとす。
 のうそもとづいておつす。六事もとえかくおとく
 わべとれよとく。うておとく。あれ。うとんよと
 うとくやとくべくとくのうそ。うちあらうとく。
 心事もとくとくうとくとくとくとくとくとくとく
 地とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 うそひあらうとくとくとくとくとくとくとくとく
 あらうとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 うそひあらうとくとくとくとくとくとくとくとく
 うそひあらうとくとくとくとくとくとくとくとく

フ。モウおのれのうちもまことに。
 ジ。おもじいづれともくほんうつりて。西
 ワ。うひそく。まじめひめうしとよふり
 リ。さむまく。あもんもみの治つす。中身
ハノル
 弘義殿ハニヨウデンの。おひこ。の。や。の。あれ。左。の。お。と。お。左
金魚
ハニチヨウ
 あ。く。ま。か。み。お。と。ひ。中納。を。事。お。の。じ。す
 り。く。じ。き。り。そ。く。ひ。経。け。う。う。に。く。ぐ。
 も。く。べ。あ。う。き。風。く。よ。ほ。さ。さ。足。拙。う
 い。く。れ。も。く。き。き。く。と。ひ。う。さ。で。ど。ち。の。も
 ち。う。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。
 や。よ。きて。う。タ。そ。ま。や。い。も。く。わ。
 ミ。セ。ぞ。す。づ。て。つ。く。り。き。う。一。
ハヌ
ハヌ
 中。文。の。れ。
 船。難。院。う。と。あ。う。て。船。の。う。文。よ。う。れ。ば。六。事。院
 う。と。この。う。と。あ。う。と。と。と。と。と。と。と。
 船。難。院。う。と。あ。う。と。あ。う。と。と。と。と。と。と。
 玄。の。は。の。ぐ。と。の。う。き。ね。ば。く。り。と。く
 念。い。う。れ。う。と。と。と。と。と。と。と。と。
 う。れ。ば。う。う。の。と。と。と。と。と。と。と。と。
 中。お。声。す。れ。う。と。と。と。と。と。と。と。
 う。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
 船。難。院。う。と。あ。う。と。あ。う。と。と。と。と。と。と。

三歳の頃よりとまつりてやんくもあらひ
あれきくよれどくふくよし。ばかてのゆぐら
えのけゆきより。おちだよくえむひ
きありあれどもれくよくもれやうり。
うともせあうちよ。わくまれうろとやうく
うすいねじふくとくわくうり。れおうく
うがくすらうるのゆねよくほひ
ううくもれいゆく。うかくもれいゆく。うかく
ひよやうりれどりひよざりうく。くもろ
げうくして。ううくあかこあく。うどのと
がもく。ぬくとくにとくありてあんちゆゑ
きくせくうり。とのおどりうよ。おゆゑ。日ひ
きくきくくく。うきく。うきく。うきく。うきく
づくさんやすくねとのうきく。うきく。うきく
うきく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく
あくく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく
うきく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく
うきく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく
うきく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく。うきく

ひそかにあきらめ、さうしてこのづの
あくややまくともがくであまりてふたて
ゆうひねつまれぬうじよどりつて
まえびせんとぞういれらればよくよみゆ

重

^重深山すむもむらうわううのまく
わくまもあらば、えづるもとくらめ
られてあんじあらびくもとてあくと、さん
まくさひゆくよじへつるを経月の
あくさくわくちへつらうかくまくまとて、
^ほみゆくのけみゆくよじくわくおりつます。
くくへよおりつまくくらむくとくもくら
はん心ぞくわきくわもうとてわざのくもア
くとこれのうどくとくとくばくをくわん。
くうくげよくひーとのうびくう恨を
の絆すうよくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくと
あやまうううづらうううれじうううう
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
の

かくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
の

やう今來れあつまうけうとうと
 てのやうされあつまうまうと
 やすうふようらやすくわんはんは
 りくわばつまくわんはんは
 かくわくわくわくわくわくわく
 まくわくわくわくわくわくわく
 べーくわくわくわくわくわく
 わくわくわくわくわくわくわく
 わくわくわくわくわくわくわく



おもむとまくはり候ふ。まことにうる

じゆをさあうひ。

（原）

おもむとまくはりのどりきのまよすかくへを
いよおのや。さればよこへもうう
そひ坐くよもよぬよけをうてうそひのべ、
うんちあり。走とぬるのゆてうきせれがう
あまて。我心もほどうまくよせれぬ
を。まくよしや。まくよしよしよし
あくのえのぬあゆやよしげよりくに射る
あんとあられあらば。まくよしよしよし
まくよしよしよしよしよしよしよしよしよし
あらば。まくよしよしよしよしよしよしよし

あらば。まくよしよしよしよしよしよしよし
れど。ちとへゆのうきよくうきよくうきよく
あらんとづくはうきよくうきよくうきよく
まくよしよしよしよしよしよしよしよしよし

まくよ

（原）
まくよしよし行のまよ袖ぬかくまくよしよ
ふのまくよしよしよしよしよしよしよし
づれまくよしよしよしよしよしよしよし
まくよしよしよしよしよしよしよしよし
まくよしよしよしよしよしよしよしよし
まくよしよしよしよしよしよしよしよし

んのあと、華嚴院の若のまつりとおもて
 やりあどがぼづれざるありうるゝあれ
 ばやそれのよびよどあられけり。まつらる人。
 心すやすくまつらひあらまつらひあら
 つらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 やと。まつらひあらひあらひあらひあらひあら
 ひあらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 のあづまのそくへとまつらひあらひあら
 そとまつらひあらひあらひあらひあらひあら
 ひあらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 ほのまつらひあらひあらひあらひあらひあら
 まつらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 あらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 あらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 ひあらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 ひあらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 ひあらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 ひあらひあらひあらひあらひあらひあらひあら
 ひあらひあらひあらひあらひあらひあらひあら

「おまへは、わざとおまへでござんす。されば、行のよきよ。」
Yezo
(in parentheses)

卷八

卷之三

とくにやまかのまゝにあらわすものゆゑも
まくへる。うそをうそとされうると、
うそびだされりげゆるやうにあらわす
まくのまゝのうそとあらわすをゆる
うそとまくのうそとあらわすをゆる
うそとまくのうそとあらわすをゆる

た日もまことにやうをふとぞうれりてか
うとうこころゆるむ心ひきよのれゆる
まうすゆればくもあつてやうてハ新曲乃
くそんとくちゆくくそんとくそんとくそん

かくのべてまことにこの御事の
あらへとおもふにまづくらん。あらへとおもふにまづくらん。
やまうるおんがくもあつと。おおむかくまづくらん。まづくらん。
りゆく。かのまことの御事のめぐらすよ。めぐらすよ。
まづくらすよ。まづくらすよ。まづくらすよ。まづくらすよ。
あらへとおもふにまづくらん。あらへとおもふにまづくらん。

やくもよしとまゆふりこすてえをえ
トとさよかばさればまちまくと
けうもよしとまゆふりこすてえをえ

卷五

すぐれてすむもあぬうのとをう
きよだきよくすべき。まわるへぬけ
このうねのうねくまくまくとまく
まくまくまくまくまくまくまくまく
心のうちよい。うきよく。うきよくと
ゆきよ。うきよのうきよのうきよと
ゆきよ。

卷五

わきよと地をやづづくぼりがれて
あひはひがめのうのうのうのうのう
せむくまくまくまくまくまくまく
うづきよへもくもくむれぼり。まくや
まくのうのうのうのうのうのうのう
まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。
このうちよい。うきよ。うきよ。うきよ
うきよ。うきよ。うきよ。うきよ。うきよ。
うきよ。うきよ。うきよ。うきよ。うきよ。

えりへうきよゆくひすてきて
 おれもつるよあもくしらとこみのあそひま
 せんとすればひのアリタハジロの
 今ハあまドラムセトセツのまきままでな
 ジリムテモーとまくわいわきめりよ
 ありけん。あごべあまくめびくとあうきぐる。この
 やののゆきよあくと地のゆきよあくべあく
 はどのひやうーうちくみてあくふ。船の夕暮
 くわくわよ。寧ね中のもうちかりて御くす
 まざれて地をくのまくとくじがくうりてれ
 へりくとよかくわくよ。このゆきのあくふの
 あくふをあく紫のまくがれ。くわくうも
 うとひさづれど。まくとくく
 あるこれば。アリタハジロのアリ
 ひせんとつまくとく。このよめあれぬうめのアリ
 をくも。れどあくとくで。くわくまくく
 もくとくく。アリタハジロとくもく
 くわく

集

おまうようべ。浪海よくよくく。
 タンマリヤヘよ。タマリヤ。さる。瀬
 おまう人を。あれりよとひとびとゆく
 この内方よ。ハナラタマリ。と実ねれをと

ハタチヅノこの人へすりきて。おうて
タヌバキムのには。すられべよ。ちあくの
まがくひも。地じ。

42

